

# ポストコロナ社会における「企業価値」の探索

～日本企業への提言「ポストコロナ社会の企業価値向上戦略」～

＜経営管理研究部 教授 砂川伸幸＞

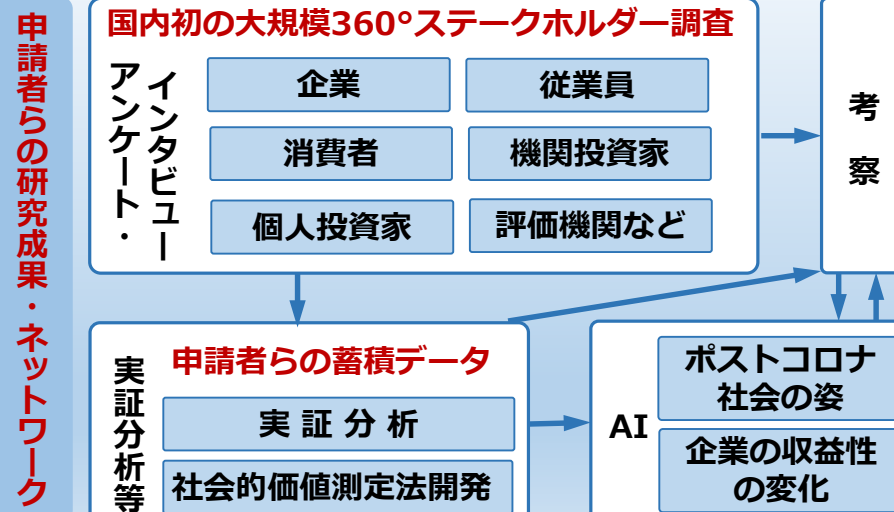
概要

- 欧米に続き、日本企業においても、ESG・SDGsなどの「社会的価値」（貢献）を重視した事業活動が増加傾向。
- しかし、それらの活動が「経済的価値」（利益）につながることを投資家等に説明しきれず、ジレンマに。
- さらに、**コロナショック発生**。企業に対する社会の評価と、収益悪化傾向の企業の状況の間に**GAP**が発生。
- そこで、企業の社会的価値への機運を高めることを目的に、企業の全ステークホルダーへの360度調査及び実証分析・社会的価値の測定方法の開発、AIによる将来シミュレーションなどを行い、次の①-④を含む、**日本企業への提言「ポストコロナ社会の企業価値向上戦略」**を作成し公表する。
  - ①社会的価値（E、S、Gに関する項目）のうち重要視される事象
  - ②社会的価値の測定方法
  - ③経済的価値と社会的価値との関係分析
  - ④ポストコロナ社会の姿と長期的な企業の収益性の変化の予測

## 背景

- ◆ **コロナショックが発生**
  - 社会の企業に対する評価  
・「社会的価値」をより重視。
  - 企業の状況  
・収益環境が悪化。  
・「社会的価値」を重視した活動が後退する可能性。
- ◆ このような**GAP**を埋め、**社会的価値を重視した企業活動の機運を高める**必要がある。

## 調査・研究



## 目標

- 日本企業への応援提言 **ポストコロナ社会の企業価値向上戦略**
- 社会的価値（E・S・G）のうち、重要視される事象
- 社会的価値の測定方法
- 経済的価値と社会的価値の関係分析
- ポストコロナ社会の姿と企業の収益性の変化の予測

## 参加研究者

## 協力

◇砂川伸幸（経営管理研究部 教授）【代表】  
◇加藤康之（経営管理研究部 客員教授）  
◇川北英隆（経営管理研究部 特任教授（名誉教授））

◇南正太郎（経営管理研究部 客員准教授）  
◇加藤政仁（経営管理研究部 専任講師）  
◇鈴木勘一郎（立命館アジア太平洋大学名誉教授）

◇京都大学ESG研究会（京大オリジナル株式会社）  
◇株式会社お金のデザイン、お金のデザイン研究所  
◇サステナブル・ラボ株式会社